



2016 - ウアルペ・ランカテ・シャルドネ

商品番号 00316-16

アルゼンチン, メンドーサ,

ボデガス・イ・ベネドス・ウアルペ S.A., アグレロ

色	白	スタイル	辛口	ボディ	ミディアムボディ
アルコール	13.0 %	容量	750 ml	熟成度	今飲み頃/保管
ブドウ	シャルドネ				

エステイトノート

エステイト	25 Ha	ヴィンテージ	18年	清澄処理	無
ブドウ畑	25Ha	標高	900m	畑の方角	東
1ヘクタールあたりのワイン生産量	6,500	収穫方法	手摘み	土壌	石灰質の粘土
1ヘクタールあたりのブドウ収穫量	75HI/Ha	選別方法	手作業	ろ過処理	有 年間生産本数 25,000

ヴィンテージノート

2016 - メンドーサ : 8 / 10 (very good)

いくつかの地域では雨と雹(ひょう)が問題でした。記録によると、最も涼しかった年の一つでした。そのため、ワインの生産量は25パーセント減りました。稀なことですが、ワインの品質はとても良いのです。相変わらず真っ先に果実味が感じられ、高いアルコール含有量の代わりに、心地よいフレッシュさがある、構成のしっかりとしたワインです。その意味で、例外的ですが、印象的なヴィンテージです。

テイastingノート

明るい黄色。良く熟した黄桃、パイナップルなどのトロピカル系果実のフレッシュな香り。ほんのりとスパイシーさも感じられる。なめらかなアタックで、酸はフレッシュだがソフト。ふっくらとした心地よい口当たり。後味は爽やか。

ボデガス・イ・ベネドス・ウアルペ S.A., アグレロ



ウアルペ・エステイトは2003年にマックスとホセ・トツの2兄弟が設立しました。もし、トツ兄弟が125年以上前の1880年に始まった長いファミリーの歴史を持っていなかったら、ストーリーとしてかなり短くなるでしょう。彼らの有名な祖先、パスクアル・トツがイタリアのピエモンテ州からアルゼンチンのメンドーサ州にきました。イタリアでのファミリー・ワイン・ビジネスの一部でしたが、彼は素早くその地域で素晴らしいワインが造れる将来性を評価し、すぐにメンドーサ州に最初のトツ・ワイナリーを設立しました。

トツ兄弟はアルゼンチンでのファミリー・ワイン・ビジネスの環境で育ちましたが、自分たちが何を造りたいのか、また自分たちの目標をどのように達成するかに対して彼ら自身の考えを持っていました。自分たちのエステイトを始める前に、彼らは各自の専門知識を国際的に広げたいと思いました。つまり、ワイン生産者であるホセはワイン生産者主任として10年間イタリアやドイツで働きました。一方、総括マネージャーであるマックスはアルゼンチンや合衆国のマッキンゼー・アンド・カンパニーでコンサルタントとして数年間働きました。新しい事業を開始する準備ができたと感じた2003年に、アグレロに本拠地を置きました。900から1,000メートルの高度の村は、アンデス山脈の山麓の丘にあります。そのテロワールは、凝縮味や複雑性があり構成のしっかりした、そして極めて素晴らしい熟成の可能性のあるワインを生産するアルゼンチンで最高のテロワールの一つです。



この兄弟は、素晴らしいブドウが育つ他の2つの地域、マイブとウコ・ヴァレーでもワインを造っています。彼らは、異なったテロワールや生育条件をうまく表現するワインを造ること、さらに、よくある高抽出された力強いワインでなくエレガントでバランスの良いワインを細心の注意を払って造ることに焦点をあてています。

このエステイトは、16世紀のスペインの征服前にメンドーサの広大な土地に居住した友好的で勤勉な先住民、ウアルペ民族に尊敬の念を払い「ウアルペ (Huarpe)」と命名されました。同じ精神で、生産される様々な種類のワインは、ブドウが育っているテロワールにちなんでウアルペ語で名付けられています。

